

平成28年度第7回南丹市社会教育委員会 会議録

日時 平成28年11月30日（水）午後1時30分～午後3時30分

場所 南丹市役所 第2号庁舎 3階 301会議室

会議出席者（順不同、敬称略）

社会教育委員 麻田健治、宇野 齊、大嶋久美子、岡島賢峰、北村友子、小南 仁、
清水範子、富田陽子、中野愛子、永井正人、三觜宏孝

市教育委員会 岸本教育次長、後藤教育参事、寺田社会教育課長、
浅田課長補佐、森社会教育主事、大塚社会教育係長、奈木野主事

傍聴人数 名

1. 開会 司会（事務局）

2. あいさつ 中野代表

3. 協議事項 園部公民館・八木公民館の今後の在り方審議のまとめ について
—園部・八木公民館の今後の在り方答申（案）について—

主な質疑・意見

- 今日出ている具体的な方向性を表されたもののほうが、前回の論議を踏まえているので良いのではないかと。八木公民館について、耐震化か支所への移転かについて、八木支所の駐車場について置ける車の台数は少ないなど不便に感じることもあるし、駐車場を確保する方向は考えていくべきだ。公民館は使い慣れてきたところではあるが、案2に示されているように考える方向として良いかなと思う。八木支所の3階なので入ってすぐ会議室とはいかないし、ホール的な機能まではいかないが、市民ホールを改修して150人くらいの客席にしていこうということなら、公民館の大集会室より天井が低くなり圧迫感があるかもしれないが、改修の仕方によっては機能的にそう落とさない形で改装を検討していただいてもらうということでもよいかと考える。案2の方の園部の方だが研修棟は耐震補強で安心して使えるものになるという方向で考えると、ホールのところから切って研修棟は耐震化を進めていく。ホール棟は耐震化のプランは出されているが、舞台袖の壁など作り、公民館大ホールをもう一度使えるようにするのは、一つの方向性だとは思いますが、座席の窮屈さ、舞台もちょっと奥行きがないのではないかと。本格的な演劇などをするにはもう少し舞台の奥行きがある方がホールとして機能が高まるの

ではないか。新たに公民館のホールを新築の方向について、費用はかかるが考えていく方が将来的には使えるものになるのではと考える。駐車場については園部公民館も非常に狭い。駐車場も確保できる方向で考えることが、園部公民館についても大事ではないか。駐車場が狭いと集客・稼働率考えても、車でお越しになる方が多いので、駐車場含め検討してもらおう方向で、新築を考えることも良いのではないか。

○大事なことは、「これは絶対だめですよ」というのがハッキリ伝わらないといけないと思っており、それが案1に全部書かれている。案2でいくと交流会館にちょっとでもホール的な機能をつくりましょうとあるが、それはだめですよ。「今の規模はある程度確保しないと文化は無くなりますよ」というのを絶対押さえておいて、そこから良くなる部分については、我々は決して反対はしない。戻ってもらっては困る部分が謳われているのであれば良いのかなと思う。当然お金がないというのは判っているので、最悪耐震工事で何とかするのであれば、ホールも壁が出来たとしてもギリギリの線によしとしましょうと思える。それ以上良くなるのであれば、大変ありがたいことだというのが伝われば良いかなと私は思う。

○前回に頂いた答申案と比べると、今回の方がこれは押さえてほしいという内容が、案1でも十分入っていると思う。案2の両公民館をどうしていくべきかを一本化しようとすると、前年度から会議を重ねても、各委員の立場も違い一本化することは難しいと思っていたので、最低限を押さえて後退しないようなものであれば、社会教育をしていくにあたり出来るものであると思うので、案1の内容で十分、答申としては良いのではないかなと思う。個人的にどの案が良いかといえば、新築ですがそれは財政的に難しいと感じているし、現状のものを耐震補強と老朽化対策をして30～40年使えるようにして頂ければそれでよい。

○出していただいた答申案について、これまで出た意見も加味されているのであれば、これで良いかなと思う。今後、市の総合教育会議でご検討される判断材料になれば良いということならこの答申で良いと思う。

○社会教育の在り方から公民館を考えるという視点に立てば、やはり機能充実を外せない。しかし具体的に公民館をどうするかと考えた場合に、最低限譲れない所は耐震補強と老朽化対応、そして案1にあるように、「その機能充実を図るとともに」ということ。そのあとの具体性の中身としては、案2にあるが、最低限譲れない部分もしっかり文言として残しておくことは大事だと思うので、「その機能充実を図る中身について」の文言は外せないと思う。

○先ほどから出ている案1.2と比べた場合、先ほどあったように案2は、ただ単に耐震補強と老朽化対応だけでないと思う。「発表の場としてのホールは機能の充実を図るとともに」と文言が入っているので、機能充実のために今の公民館をそっくり耐震化するのか、新たに案2にあるように隣接したホールを設置していただけるのか、その辺は答申を出した後の総合教育会議で財政的なこともあるだろうし、市のまちづくりの計画もあると思うので、より今まで議論してきたことが図れる中身で、検討していただけるのではないかと感じている。案2で思うことは、確かに園部公民館に隣接したホール等を新たに設けるということで市民にとっては良いことだと思うが、引き換えに八木の公民館は支所に移ってしまう、ということではないか。そのコストについて、そっちに回ってしまうのではないかと思われる。そうなった際に、八木公民館で活動する団体にとってどうなのかなと思ったら、案1の方が多少漠然としているが、今までの議論の積み重ねを考慮しながら総合教育会議で決めていただければとの思いも持っている。

○案1の方が賛成だが、40年経ち備品とか相当老朽化しているので機能の充実を十分にしてほしいと思う。

○併せて機能の充実はホールに限らず、公民館全てにおいてトイレの問題やバリアフリーの問題とか、すべての市民に対して使いやすいという意味での公民館全体に機能充実という言葉を入れていただければよい。

○そもそも耐震不足にならなかつたらこんな答申を出すことにならなかつたので、耐震化・耐震補強とかその辺を入れたほうが良いのではないかと思うし、あった方がわかりやすい。

4. 閉会 副代表あいさつ